

平成23年度CSI委託事業報告交流会
Session.4 成長するコミュニティ

香川共同リポジトリプロジェクト の現状と課題

香川大学 学術室 情報図書グループ
大園 岳雄

香川県における機関リポジトリの構築状況

- 香川大学学術情報リポジトリ(平成21年ー)



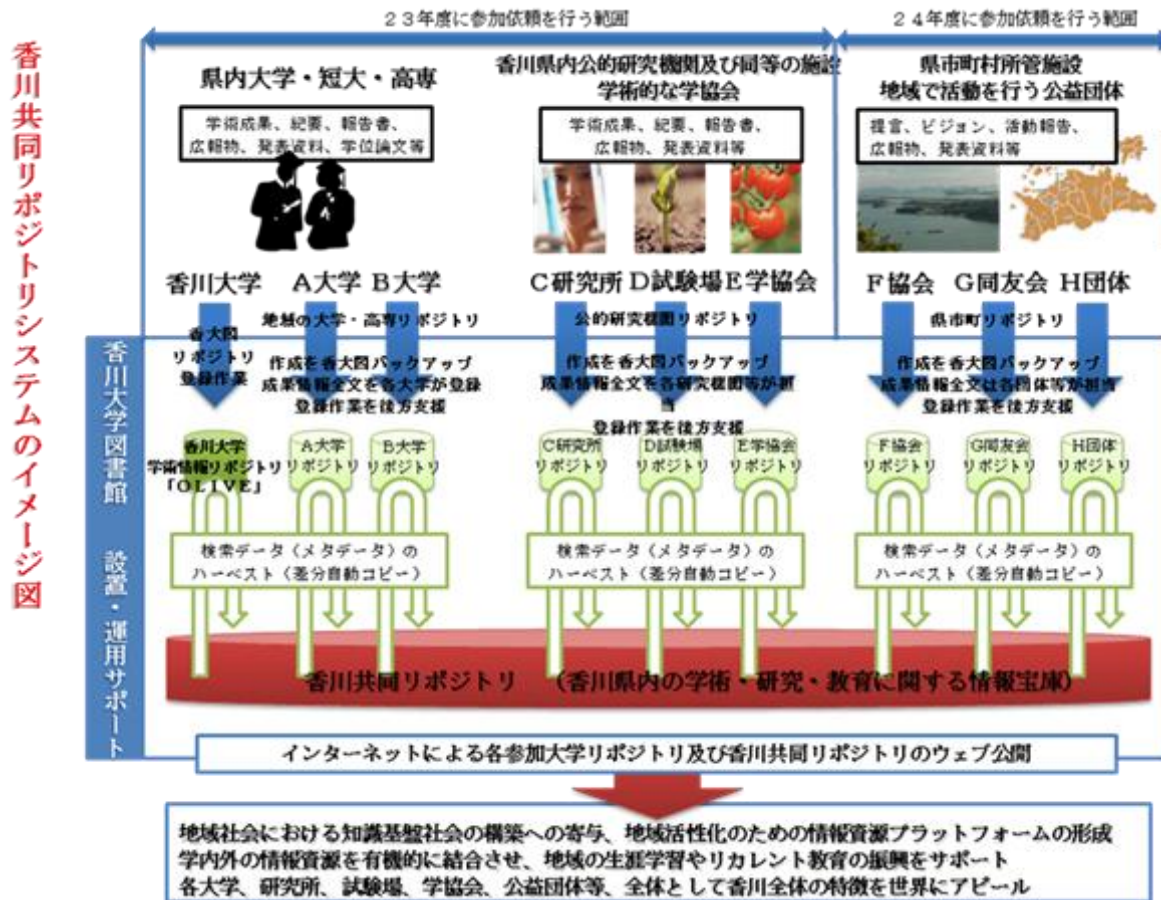
- 香川県遺跡資料リポジトリ(平成22年ー)



香川県における機関リポジトリの普及活動

- **平成21年 全国遺跡資料リポジトリプロジェクト**
地方公共団体機関を対象とした説明訪問の実施
参考：岩澤尚子. 遺跡資料リポジトリ構築に向けて：香川県域を回る.
<http://shark.lib.kagawa-u.ac.jp/kuir/metadata/3004>
- **平成22年 DRFtech-Kagawa DRF技術ワークショップ**
DRF と連携しワークショップを開催
参考：DRF wiki イベント情報
<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?DRFtech-Kagawa>
- **平成23年 香川共同リポジトリプロジェクト ← New !**
香川県内で生産された学術研究成果を電子的に収集、整理、保存し、インターネットを通じて無償で提供する事業

香川共同リポジトリプロジェクトについて



平成23年度の活動について

■ 広報活動

説明訪問(大学:5 高等専門学校:1 地方公共団体試験場:3)
香川県図書館学会(発表)

■ システム構築支援

プロジェクト代表機関である香川大学が図書館システムの一部として、
共同リポジトリ用サーバとシステム(Earmas)を調達

*サーバ、システムの保守については、香川大学が代表機関として負担

■ コンテンツ作成支援

平成23年度CSI委託事業により、
参加予定機関の冊子体コンテンツ(紀要論文)の電子化とメタデータの作成
(3大学 1高等専門学校 論文数:2,735件)

*コンテンツの作成、著作権処理については、参加機関が負担

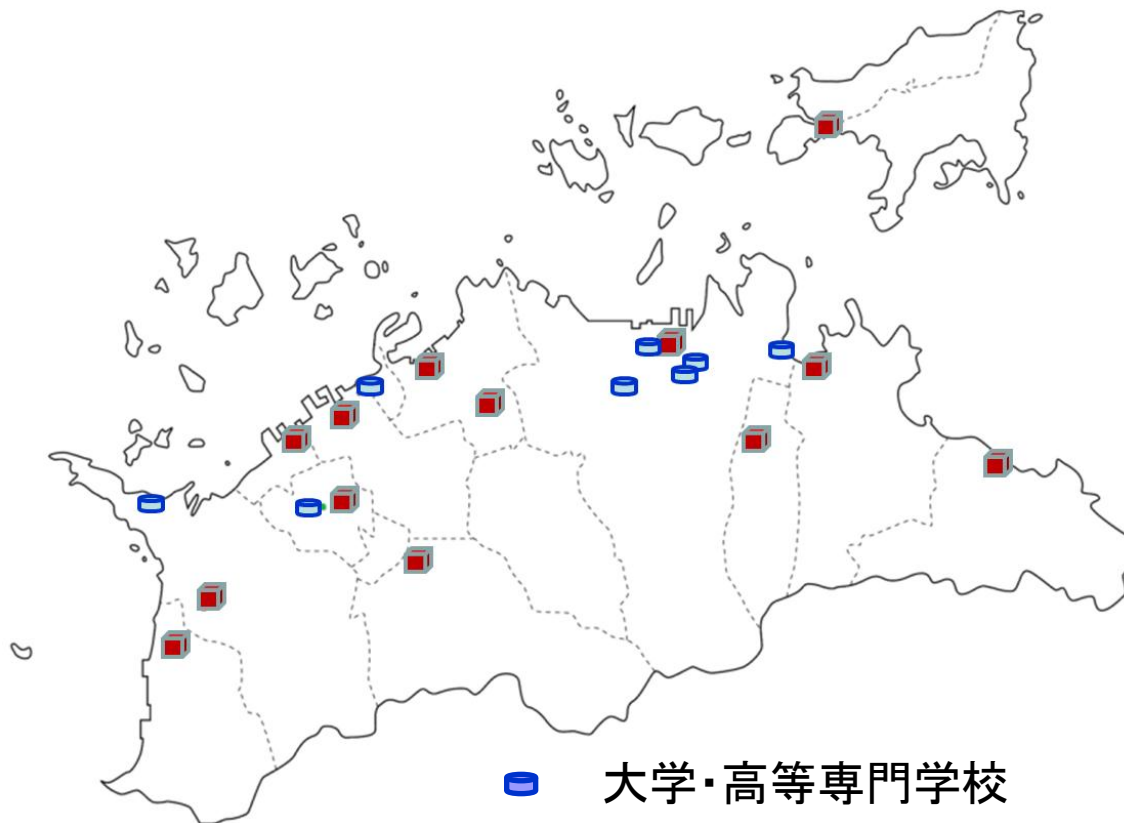
活動を通して見えてきたこと

- 学術情報のオープンアクセスについて理解は得られる。しかし、中小機関で新規構築を行うには、人材面、経費面において未だ厳しい現状にある。
- 大学における認知度は高い。ただし、大学から一歩外に出てみると...？

今後の目標について

- 県内高等教育機関(大学)における構築率100%を目指す。
- 機関＝大学という枠組みを超えた視点でも普及活動を行う。

香川共同リポジトリは、大学という枠組みを超えたコミュニティによる知の発掘を目指します！



- 大学・高等専門学校
- 自治体機関
(香川県遺跡リポジトリコンテンツ提供機関)